

YOKOSHIN NEWS

平成27年7月1日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—平成27年4～6月期実績、7～9月期予想—

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】業況は改善しプラスに、来期も改善傾向が継続する見込み

- 今期(平成27年4～6月期)の全業種総合業況判断DIは、前期比2.8ポイント上昇の2.8となった。来期は、今期より2.0ポイント上昇の4.8と、改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比0.8ポイント上昇の5.9となった。来期は、今期より4.4ポイント上昇の10.3と、改善を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比3.8ポイント上昇の1.2となった。サービス業は17.4ポイント上昇の6.1、小売業は8.9ポイント上昇の-11.6となった。建設業は、7.9ポイント低下の12.4となった。

【特別調査】中小企業の賃上げと人材確保への取組みについて

- 今春の賃上げ実施状況 「実施した」14.0% 「実施しなかった」86.0%
- 賃上げを実施する場合の決定過程 「幹部間での協議」が最多回答 53.0%
- 賃上げの実施を判断する条件 「自社の業況の改善」が最多回答 67.5%
- 積極的な正社員採用を判断する状況 「自社の業況の改善」が最多回答 52.7%
- 人材の定着に向けた対応策 「働きやすい職場環境づくり」が最多回答 58.0%

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:757先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成27年6月上旬

※ その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。



横浜信用金庫